

鈴木博人 略歴

学歴

1988年3月 北海道大学理学部地球物理学科卒業
1990年3月 東京大学院理学系研究科地球物理学専攻修了
2016年3月 博士(工学)京都大学

職歴

1990年 4月 東日本旅客鉄道株式会社 入社
1990年 10月 東京構造物検査センター 施設係
1992年 2月 東京地域本社施設部工事課 課員
1993年 2月 安全研究所踏切・防災 G 課員
1996年 2月 新潟支社設備部工事課 課員
1998年 2月 東京土木技術センター助役
2000年 2月 構造技術センター主席
2001年 2月 安全研究所防災 G 副 課長
2003年 2月 新潟工事区 区長
2005年 6月 テクニカルセンター 課長
2006年 2月 テクニカルセンター 課長 兼 防災研究所気象防災 G 課長
2006年 4月 防災研究所気象防災 G 課長
2008年 6月 千葉支社設備部工事課 課長
2012年 6月 防災研究所 次長
2013年 1月 防災研究所 所長
2020年 5月 研究開発センター 担当部長
2022年 10月 政策研究大学院大学 教授

社会活動

1. 2002年5月12日～2003年3月31日
日本鉄道施設協会 協会誌編集委員会（土木分科会） 委員
2. 2012年7月1日～2013年5月31日
日本鉄道施設協会 協会誌編集委員会（土木分科会） 委員
3. 2012年7月17日～2013年3月31日
日総務省関東総合通信局 17GHz 対地上設置型合成開口レーダーの周波数有効利用

技術に関する調査検討会 構成員

4. 2015年10月28日～2019年3月31日
土木学会 地震工学委員会 ライフラインに係わる都市減災対策技術の高度化に関する研究小委員会 委員
5. 2017年5月5日～2020年3月31日
独立行政法人国際協力機構 インド国高速鉄道事業に係る技術基準／設計支援委員
防災分科会 メンバー
6. 2019年4月18日～現在
文部科学省 防災科学技術委員会 科学技術・学術審議会 専門委員
7. 2019年7月5日～現在
土木学会 地震工学委員会 ライフライン防災・減災技術の高度化と体系的活用検討小委員会 委員

受賞歴

1. 2016年2月1日 気象研究所長感謝状
「竜巻突風のメカニズム解明と監視予測メカニズム技術の高度化の研究協力と突風防災に係る研究の推進」
2. 2017年9月26日 2017年度 日本雪氷学会 論文賞
「新潟県における年最大積雪深および積雪期間の長期変動解析（論文）」
3. 2018年2月1日 気象研究所長感謝状
「突風探知アルゴリズムの研究開発により、ドップラーレーダーを用いた突風に対する鉄道安全運行システムの実用化に貢献した功績」
4. 2019年4月17日 科学技術分野の文部科学大臣表彰（開発部門）
「ドップラーレーダーを用いた突風時の列車運転規制方法の開発」
5. 2019年6月5日 第11回 日本鉄道技術協会 坂田記念賞最優秀賞
「ドップラーレーダーを用いた突風に対する列車運転規制方法の開発と導入（論文）」
6. 2019年6月14日 土木学会 技術開発賞
「ドップラーレーダーを用いた突風に対する列車運転規制方法の開発」
7. 2019年10月15日 第18回 日本鉄道賞 「安全」「正確」「快適」を守るシステム特別賞
「世界で初めてのドップラーレーダーを用いた突風に対する列車運転規制～突風に対する列車運行の安全性の向上に向けて～」
8. 2020年5月20日 2020年度 気象学会 岸保・立平賞
「ドップラーレーダーを用いた突風災害の軽減に向けた研究開発と鉄道の安全運行のための社会実装」

9. 2021年1月8日 第4回「インフラメンテナンス大賞 優秀賞」
「保守労力低減と持続性を両立した「新しい鉄道林」への転換」
10. 2021年6月5日 2021年度 日本雪氷学会北信越支部 大沼賞
「長期間にわたる鉄道の降積雪量記録の電子媒体化とそれを用いた解析」
11. 2021年10月27日 第20回 日本鉄道賞 日本鉄道大賞
「世界で初めての海底地震計を用いた新幹線地震早期検知の開発・導入とその効果
～ 地震に対する新幹線の安全性向上に向けて ～」
12. 2022年1月21日 第5回「インフラメンテナンス大賞 優秀賞」
「河川氾濫に対する鉄道車両の避難判断を支援する方法とシステムの開発」
13. 2022年6月10日 令和3年度 土木学会 技術開発賞
「新幹線における海底地震計を用いた早期地震検知の開発・実装」
14. 2022年9月19日 第32回自然災害学会 学術賞
「新幹線における海底地震計を利用した早期地震検知とその効果（論文）」

鈴木博人 研究業績等

査読付き原著論文

1. 石橋忠良, 古谷時春, 浜崎直行, 鈴木博人: 高架橋等からのコンクリート片剥落に関する調査研究, 土木学会論文集, Vol.711, pp.125-134, 2002.
2. 鈴木博人, 島村誠: 正時及び 10 分毎の 1 時間雨量から最大 1 時間雨量の推定方法について, 水工学論文集, Vol.47, pp.145-150, 2003.
3. 鈴木博人: 日本での最近の半世紀における大雨の出現頻度の経年変化, 天気, Vol.51, pp.805-816, 2004.
4. 鈴木博人: 観測間隔の異なる降水量データに基づいたひと雨における最大降水量の関係, 水工学論文集, Vol.48, pp. 73-78, 2004.
5. 鈴木博人: 新潟県とその周辺における降積雪量の 1927~2005 年の経年変化 —鉄道駅構内の露場で観測された降積雪量データを用いた解析—, 天気, Vol.53, pp.185-196, 2006.
6. 鈴木博人: 東北と北陸地方の日本海側における降水と積雪の気温依存性, 水工学論文集, Vol.50, pp.427-432, 2006.
7. 鈴木博人, 中北英一: 鉄道と気象庁の降水量データを用いた大雨の標高依存性の解析 水工学論文集, Vol.51, pp.283-288, 2007.
8. 鈴木博人, 高橋日出男: 関東平野における大雨の空間スケール —鉄道と気象庁の降水量データを用いた統計解析—, 自然災害科学, Vol.27, pp.161-173, 2008.
9. 鈴木博人, 中北英一, 高橋日出男: 降雨の空間代表性 —鉄道と気象庁の降水量データを用いた解析—, 水工学論文集, Vol.52, pp.187-192, 2008.
10. 竹見哲也, 猪上華子, 楠研一, 加藤亘, 鈴木博人, 今井俊昭, 別所康太郎, 中里真久, 星野俊介, 益子渉, 林 修吾, 福原隆彰, 柴田徹: メソ気象擾乱に伴う地上近傍の強風変動に関する高解像度気象モデル解析, 風工学シンポジウム論文集, Vol.20, 6p., 2008.
11. 三須弥生, 山口敦, 石原 孟, 松沼政明, 鈴木博人, 島村誠: 風観測と気流解析を利用した列車運行管理のための強風推定手法に関する研究, 風工学シンポジウム論文集, Vol.20, 6p., 2008.
12. 佐々浩司, 谷脇和博, 林泰一, 川端康弘, 鈴木博人, 加藤亘, 三須弥生: 2007 年 12 月 2 日の酒田市突風災害発生時に観測されたガストフロント, 風工学シンポジウム論文集, Vol.20, 6p, 2008.
13. 鈴木博人, 加藤亘, 島村誠, 畑村真一, 野村真奈美, 日置江桂: 列車運転規制のためのレーダーエコーデータを用いた冬期寒冷前線に伴う突風に対する警戒基準の開発, 天気, Vol.56, pp.353-365, 2009.

14. 鈴木博人, 中北英一, 高橋日出男: 雨量計の観測値を用いた降水量の空間代表性の解析 共著 水工学論文集, Vol.53, pp.391-396, 2009.
15. 鈴木博人: 新潟県とその周辺における大雪の出現頻度の経年変化とその気温との関係 — 鉄道駅構内の露場で観測された日降雪深データを用いた解析 —, 天気, Vol.57, pp.289-303, 2010.
16. 鈴木博人, 中北英一: 山間部の鉄道沿線における大雨の標高依存性, 水工学論文集, Vol.54, pp.337-342, 2010.
17. 鈴木博人, 中北英一, 高橋日出男: 鉄道における雨量計の配置間隔に関する考察, 水工学論文集, Vol.55, pp.271-276, 2011.
18. 高橋日出男, 中村康子, 鈴木博人: 東京都区部における強雨頻度分布と建築物高度の空間構造との関係, 地学雑誌, Vol.120, pp.359-381, 2011.
19. Inoue, Hanako Y., Kenichi Kusunoki, Wataru Kato, Hiroto Suzuki, Toshihiko Imai, Tetsuya Takemi, Kotaro Bessho, Masahisa Nakazato, Shunsuke Hoshino, Wataru Mashiko, Syugo Hayashi, Takaaki Fukuhara, Toru Shibata, Hitoshi. Yamauchi and Osamu. Suzuki : Finescale Doppler Radar Observation of a Tornado and Low-Level Mesocyclones within a Winter Storm in the Japan Sea Coastal Region, Mon. Wea. Rev., Vol.139, pp.351-369. 2011.
20. 鈴木博人, 中北英一, 高橋日出男: 鉄道における雨量計の設置間隔と列車運転規制基準値の設定方法に関する考察, 土木学会論文集 B1(水工学), Vol.68, No.4, pp.I_409-I_414, 2012.
21. 鈴木博人: 日本における大雪の経年変化とその環境場との関係 — 気象庁と鉄道の日降雪深データを用いた解析 —, 天気, Vol.59, pp.333-350, 2012.
22. 鈴木博人, 中北英一, 高橋日出男: 離散的に配置された雨量計の大雨の捕捉性能に関する解析, 土木学会論文集 B1(水工学), Vol.69, No.4, pp.I_295-I_300, 2013.
23. 鈴木博人: 降雨時の列車運行の安全性向上に向けた考察 — 降雨に起因した列車脱線事故の分析 —, 鉄道工学シンポジウム論文集, Vol.18, pp. 141-147, 2014.
24. 鈴木博人, 大島竜二: 雨量計で観測される降雨量と災害の発生地点の降雨量の差異に関する考察, 自然災害科学, Vol.33, 特別号, pp.101-113, 2014.
25. 南雲洋介, 栗原智亮, 鈴木博人, 島村誠: 強風時の列車運転規制に用いる風速の評価方法に関する検討 — 自然風の空間的なばらつきの考慮 —, 鉄道工学シンポジウム論文集, Vol.18, pp. 135-140, 2014.
26. 南雲洋介, 鈴木博人, 島村誠: 強風時の列車運転規制に用いる風速の評価方法に関する検討: 実物大車両模型の実測データを用いた瞬間風速の平均化時間の解析, 風工学シンポジウム論文集, Vol.23, pp.181-187, 2014.
27. 鈴木博人, 大島竜二, 中北英一, 高橋日出男: 雨量計による大雨の捕捉性能の評価と雨量計の受持ち区間の見直し方法に関する研究, 土木学会論文集 B1(水工学), Vol.71, No.4,

pp.I_1303-I_1308, 2015.

28. 鈴木博人, 高橋日出男, 中北英一: 複数の機関の雨量計観測値を用いた大雨の空間スケールに関する解析, 自然災害科学, Vol.34, 特別号, pp.61-76, 2015.
29. Kato, Ryohei, Kenichi Kusunoki, Hanako Y. Inoue, Ken-ichiro Arai, Masahide Nishihashi, Chusei Fujiwara, Ken-ichi Shimose, Wataru Mashiko, Eiichi Sato, Sadao Saito, Syugo Hayashi, Satoru Yoshida, and Hitroto Suzuki: Modification of Misovortices during Landfall in the Japan Sea Coastal Region, Atmos. Res., Vol.158-159, pp.13-23, 2015.
30. Kato, Ryohei, Kenichi Kusunoki, Eiichi Sato, Wataru Mashiko, Hanako Y. Inoue, Chusei Fujiwara, Ken-ichiro Arai, Masahide Nishihashi, Sadao Saito, Syugo Hayashi, and Hiroto Suzuki: Analysis of the horizontal two-dimensional near-surface structure of a winter tornadic vortex using high-resolution in situ wind and pressure measurements, . Geophys. Res. Atmos, Vol.120, pp.5879-5894, 2015.
31. 植村昌一, 鈴木博人: 基準値より少ない降雨量で発生した災害の発生形態分類 - 鉄道における災害事例を用いた分析 -, 鉄道工学シンポジウム論文集, Vol.20, pp.241-248, 2016.
32. 柴田有貴, 河島克久, 鈴木博人: 新潟県における年最大積雪深および積雪期間の長期変動解析, 雪氷, Vol.78, pp.291-306, 2016.
33. 鈴木博人・中北英一・高橋日出男: 1km メッシュ解析雨量の精度検証 - 関東甲信越地方と東北地方における解析 -, 土木学会論文集, B1(水工学), Vol.73, No.4, pp.13-18, 2017.
34. 鈴木博人, 中北英一, 高橋日出男: レーダー雨量の列車運転規制への活用に関する研究, 土木学会論文集, B1 (水工学), Vol.73, No.3, pp.54-70, 2017.
35. 植村昌一, 宇治橋康行, 平松晋也, 鈴木博人: 切取斜面下部に形成された堆積土層の崩壊と降雨の関係 - 鉄道沿線の崩壊事例に基づく崩壊予測手法の検討 -, 日本地すべり学会誌, Vol.54, pp79-90, 2017.
36. 鈴木博人, 河島克久: 鉄道の観測データでみる新潟県とその周辺地域における豪雪年の積雪分布とその鉄道への影響, 土木学会論文集 B1 (水工学), Vol.74, No5, I_301-306, 2018.
37. 植村昌一, 宇治橋康行, 平松晋也, 鈴木博人: 盛土斜面の崩壊危険度評価手法に関する研究 - 鉄道における崩壊事例への適用 -, 日本地すべり学会誌, Vol.55, pp.1-12, 2018.
38. 植村昌一, 宇治橋康行, 平松晋也, 鈴木博人: 貯留高を用いた自然斜面の崩壊危険度評価, 土木学会論文集 B1 (水工学), Vol.74, No.4, pp.I_1267-1272, 2018.
39. 中淵遥平, 鈴木博人, 中北英一: 列車運転規制への活用を目的とした降雨予測情報の精度検証, 土木学会論文集 B1 (水工学), Vol.74, No.5, pp.I_1303-1308, 2018.
40. 植村昌一, 平松晋也, 宇治橋康行, 鈴木博人: 切取斜面崩壊の危険度評価に関する検討,

- 土木学会論文集 B1 (水工学) , Vol.74, No.5, pp.I_1021-1026, 2018.
41. 鈴木博人 : 北海道における年最大積雪深と気温の関係 –鉄道と気象庁の観測データを用いた解析–, 寒地技術論文・報告集, Vol.35, pp.47-52, 2019.
 42. 岡暁子, 高橋日出男, 中島虹, 鈴木博人 : 降水域の広がりに着目した東京とその周辺域における夏季強雨発現の地域特性, E-journal GEO, Vol.14, No.1.7, pp.233-245, 2019.
 43. 植村昌一, 宇治橋康行, 平松晋也, 鈴木博人 : 鉄道沿線斜面における遅れ崩壊と降雨の関係, 土木学会論文集 B1 (水工学) , Vol.75, No.2, pp.I_187-I_192, 2019.
 44. 鈴木博人, 中渕遥平, 道広有理, 大西瑞紀, 佐藤大輔, 田中淳一 : 流域平均雨量を用いた河川氾濫のリアルタイム予測, 土木学会論文集 B1(水工学), Vol.76, No.2, I_553-I_558, 2020.
 45. 鈴木博人 : 北海道における降積雪量と環境場の関係 –鉄道と気象庁の観測データを用いた解析–, 寒地技術論文・報告集, Vol.36, pp.17-22, 2020.
 46. 植村昌一, 橋本健, 鈴木博人, 宇治橋康行 : 気候変動による降水量の変化に伴う鉄道輸送の安定性影響評価, 土木学会論文集 B1(水工学) , Vol.76, No.2, I_61-I_66, 2020.
 47. 中渕遥平, 鈴木博人, 金原知穂, 遠藤理, 中北英一 : 列車運転規制への活用のための短時間降雨予測の補正手法の検討 土木学会論文集B1(水工学), Vol.76, No.2, pp.I_409-I_414, 2020.
 48. 鈴木博人, 宮腰寛之 : 地震計の設置間隔に応じた列車運転規制基準値の設定方法に関する研究, 鉄道工学シンポジウム講演集, Vol.25, pp.9-16, 2021.
 49. 鈴木博人, 宮腰寛之, 山本俊六, 是永将宏, 鈴木亘, 青井真 : 新幹線における海底地震計を利用した早期地震検知とその効果, 自然災害科学, Vol.40, pp.196-206, 2021.
 50. 植村昌一, 橋本健, 鈴木博人 : 気候変動による降水変化に伴う鉄道輸送の安定性への影響評価 –複数の路線を対象とした解析 –, 土木学会論文集 B1(水工学) , Vol.77, No.2, pp.I_13-I_18, 2021.

国際会議 Proceedings

1. Suzuki, Hiroto and Makoto Shimamura : Scour of Railway Embankment Foundation Located on Sea-Cliff in Japan, First International Conference on Scour of Foundations, College Station, Texas, USA, pp.945-953, 2002.
2. Suzuki, Hiroto : Analysis of Train Derailment Caused by Natural Disasters in the Railways of Japan, Proceedings of the Third International Conference on Railway Technology: Research, Development and Maintenance(Railways2016), Cagliari, Sardinia, Italy, Paper79, pp.1-11, 2016.

3. Suzuki, Hiroto, Eiichi Nakakita, and Hideo Takahashi : Study Regarding Utilization of Radar Precipitation in Train Operation Control, The 2017 International Weather Radar and Hydrology Symposium (WRaH2017) , Seoul, Korea, 2017.
4. Suzuki, Hiroto, Kusunoki Kusunoki, Chusei Fujiwara, and Hanako Inoue : Development and Practical Application of Train Operation Control Method Against Wind Gust Using Doppler Radar, 17th International Symposium on New Technologies for Urban Safety of Mega Cities in Asia (USMCA2018) , Paper No. 25, Hyderabad, India, pp.1-6, 2018.
5. Suzuki, Hiroto, Kusunoki Kusunoki, Chusei Fujiwara, and Hanako Inoue : Development of train operation control method against wind gusts using Doppler radar, 4th International Conference on Railway Technology: Research, Development and Maintenance (Railways2018), Sitges, Spain, C6.05, 2018.
6. Suzuki, Hiroto, Eichi, Nakakita, and Hideo, Takahashi : Development of Train Operation Control Method against Localized Heavy Rainfall using Weather Radar Data, 12th World Congress on Railway Research(WCRR), Tokyo, Japan, OP_03_5, pp.1-6, 2019.
7. Miyakoshi Hiroyuki, Hiroto, Suzuki, Shunroku, Yamamoto, Watau, Suzuki, and Shin, Aoi : Earthquake Early Warning for Shinkansen using Ocean Bottom Seismometer, 12th World Congress on Railway Research(WCRR), Tokyo, Japan, IP_06_4, pp.1-6, 2019.
8. Fujiwara, Chusei, Hiroto Suzuki, Kusunoki Kusunoki, Hanako Inoue, Naoki Ishizu, and Ken-ichi Arai : Development of Train Operation Control Method Against Wind Gust Using Doppler Radar 12th World Congress on Railway Research(WCRR), Tokyo, Japan, IP_10_5, pp.1-6, 2019.
9. Suzuki, Hiroto, Kusunoki Kusunoki, Chusei Fujiwara, and Hanako Inoue : Development and Practical Application of Train Operation Control Method Against Wind Gust Using Doppler Radar, The 15th International Conference on Wind Engineering (ICWE15) , Oral_P182113, Beijing, China, pp.1-10, 2019.
10. Suzuki, Hiroto : Earthquake Countermeasures of Shinkansen and their Outcomes, 18th International Symposium on New Technologies for Urban Safety of Mega Cities in Asia (USMCA2019) , Yangon, Myanmar, pp.60-67, 2019.
11. Uemura, Shoichi, Hiroto Suzuki, and Hiroyuki Miyakoshi : Statistical Analysis of Relation between Seismic Motion and Viaduct Damage in Considering Efficacy of Seismic Reinforcement, 18th International Symposium on New Technologies for Urban Safety of Mega Cities in Asia (USMCA2019) , Yangon, Myanmar, pp.95-101, 2019.

招待・依頼講演

1. 2009年11月13日 予報課懇談会（気象庁予報部予報課主催），「雨量計の観測値を用いた降水の空間代表性と空間スケールに関する解析」
2. 2015年2月13日 Preceding the 3rd Un World Conference on Disaster Risk Reduction, Sendai, Japan,（IRIDeS,GEM,NIED,OYO 主催），「Hard and Soft Seismic Countermeasures at East Japan Railway Company：Our Experience of Three Recent Large Earthquake」, Sendai, Japan.
3. 2015年7月23日 第1回気象・環境テクノロジー展 気象・環境ビジネスセミナー（一般社団法人日本能率協会主催），「鉄道における自然災害対策について」
4. 2016年2月17日 日本鉄道施設協会千葉支部講演会（日本鉄道施設協会千葉支部主催），「自然災害に対する防災対策と効果」
5. 2016年4月27日 気象研究所・予報課合同懇談会（気象研究所・気象庁予報部予報課主催），「鉄道における気象情報の活用と技術開発」
6. 2016年9月13日 ADB Transport Forum 2016,（Asian Development Bank 主催），「Lessons and Countermeasures Learned by Japanese Railways from Large Earthquakes」, Manila, Philippines.
7. 2016年12月8日 International Railway Forum for North America,（The International Association of Public Transport 主催），「Preparedness and resilience for climate change：Countermeasures for localized heavy rainfall and wind gusts in East Japan Railway Company」, New York, USA.
8. 2017年3月30日 日本風工学会・実大ストームシミュレータ研究会（日本風工学会主催），「鉄道と風について」
9. 2017年4月14日 The seminar of Korea Railroad Research Institute（Korea Railroad Research Institute 主催），”Train operation control Method in times of dangerous weather conditions in JR East”, Gyeonggi-do, Korea.
10. 2017年10月13日 Kick off meeting of the International Joint Research Project - Effect of Tornado and Downburst on Network-like Distributed Infrastructures and the Risk propagation Mechanism（111 project 主催），Three topics of prevention disaster technique in Japan’s railway, Chongqing, China.
11. 2017年10月14日 International High-end Forum on Structure Engineering and Wind Engineering,（Innovation and Intelligence-importing Base on Mitigating Wind-induced Disaster of Infrastructures Sensitive to Wind（Beijing Jiaotong University）and School of Civil Engineering, Chongqing University 主催）「Development of Wind Gust Detection Method in Japanese Railway」, Chongqing, China.
12. 2018年5月23日 平成30年度 一般財団法人日本風工学会 年次研究発表会（日本風工学

- 会主催) , 「鉄道における風災害に関する課題と実大ストームシミュレータへの期待」
13. 2018年6月4日 鉄道気象連絡会第31回役員会気象講演会(鉄道気象連絡会主催) , 「ドップラーレーダーを用いた突風に対する列車運転規制方法の開発」
 14. 2018年11月29日 防災特別セミナー「災害リスクを知り効果的な災害対応へ ~仙台防災枠組みから学ぶ企業防災~」パネルディスカッション(防災普及協会主催) , 「鉄道における自然災害からの教訓と対策」
 15. 2018年12月12日 17th International Symposium on New Technologies for Urban Safety of Mega Cities in Asia (USMCA2018) , 「Development and Practical Application of Train Operation Control Method Against Wind Gust Using Doppler Radar」 , Hyderabad, India.
 16. 2019年9月7日 The seminar of “Wind in high speed railway engineering” , (Beijing Jiaotong University 主催) , 「Development of Train Operation Control Method against Wind Gusts Using Doppler Radar」 , Beijing, China.
 17. 2020年2月4日 第4回気象ビジネスフォーラム(気象庁主催) , 「ドップラーレーダーを用いた突風に対する列車運転規制方法の開発と鉄道における自然災害対策」
 18. 2020年8月23日 日本気象学会第54回夏季大学「雲の科学」(気象学会主催) , 「鉄道における雨, 風, 雪対策」
 19. 2020年10月27日 日本気象学会2020年度岸保・立平賞受賞記念講演(気象学会主催) , 「ドップラーレーダーを用いた突風災害の軽減に向けた研究開発と鉄道の安全運行のための社会実装」
 20. 2020年11月5日 第3回「Yamagata 幸セデジタル化」有識者会議における事例紹介(山形県主催) , 「ドップラーレーダーを用いた突風に対する列車運転規制の実用化とAI技術の活用」
 21. 2021年2月5日 株式会社ウェザーマップ社内研修(株式会社ウェザーマップ主催) , 「鉄道における雨, 風, 雪対策」
 22. 2021年9月15日 土木学会ライフライン防災・減災技術の高度化と体系的活用検討小委員会(ライフライン防災・減災技術の高度化と体系的活用検討小委員会主催) , 「鉄道分野の地震対策」
 23. 2022年5月6日 The seminar of “Effects of Tornado and Downburst on Network-like Distributed Infrastructures and the Risk Propagation Mechanism” , (Chongqing University 主催) , 「Development and Implementation of Train Operation Control Method Against Wind Gusts Using Doppler Radar and AI」, Zoom.